

東京国際大学での 2011年研究大会 プログラム固まる

40回目の節目を迎える2011年の研究大会は、2011年10月22日（土）・23日（日）に、東京国際大学第1キャンパス（埼玉県川越市）で開催され、本年度もJSSEESとの合同大会となります。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 共通論題

今年の共通論題のテーマは、「ソ連崩壊20年とその後の世界」です。昨年度好評であったことから、今年度の共通論題も、第1セッションの研究報告と、第2セッションのパネル・ディスカッションの二部構成となります。

第1セッションでは、横手慎二会員（慶應義塾大学）の司会の下、「体制変動と地域研究－一比較政治学徒として考える－」と題する伊東孝之会員（早稲田大学）による報告、および「『北方領土』をめぐる20年－ボーダーランドの実態と仮想－」と題する黒岩幸子会員（岩手県立大学）による2つの研究報告が行われ、林忠行会員（京都女子大学）、六鹿茂夫会員（静岡県立大学）が討論者となります。

第2セッションのパネル・ディスカッションでは、宇山智彦会員（北海道大学）による司会の下、政治の分野から大串敦会員（大阪経済法科大学）が、経済の分野から杉浦史和会員（帝京大学）がパネリストとなり、会員以外から、渡邊日日（東京大学）、平田武（東北大学）の両氏をゲスト・パネリストとしてお迎えし、文化人類学および東欧研究の観点から議論にご参加いただきます。パネル・ディスカッションに

関しては、昨年に引き続き、記録を学会誌に掲載する予定です。

2日目午後に予定されているJSSEESのシンポジウムも、「ソビエト崩壊20年－生活の変化、思想の変容－」というテーマであり、当学会の共通論題と問題意識を共有する内容となっております。

2. 自由論題

自由論題報告は、JSSEES受付分を含めて9件の応募があり、3つの分科会で構成されます。地域研究学会として相応しい多様な報告が予定されています。現代ロシアを取り扱う報告が増えている点が、今年の特徴です。

本年度から、1報告あたりの配分時間を従来の40分から50分に延長し、報告、討論、質疑応答のための十分な時間を確保することに努めました。

3. 院生会員連絡会の実施

院生幹事の新設やメーリング・リストの導入などにより、院生会員の組織化を進めておりますが、今年の研究大会から院生会員連絡会を実施します。

院生会員間のコミュニケーションや研究情報の共有に加えて、学会運営に対するご意見などもうかがい、若手研究者支援制度の拡充を図りたいと思います。

4. ホームページの活用

報告要旨集は大会当日に配布されますが、10月中旬頃から新しいHP（<http://www.gakkai.ac/roto>）上で先行掲示します。また、報告用ペーパーも10月中旬頃からHPに掲示します。報告用ペーパーは大会当日に報告者から配布されないので、事前にダウンロードの上、お持ちいただきますようお願いします。新HPの立ち上げに伴い、研究大会の参加登録もHP上で行います。オンライン参加登録に関する詳細は3頁をご参照ください。

最近の理事会 議事録より

2011年6月25日（日）に上智大学で、2011年度第1回目の理事会が開かれ、以下のような報告および審議が行われました。

1. 事務局報告（兵頭事務局長、防衛研究所）

- (1) 2012年研究大会の開催校である同志社大学の月村太郎会員の理事就任に関して、理事による事前のメール審議により賛成多数で承認されたことが報告された。
- (2) ニューズレター23号が5月に発行されたことが報告された。
- (3) 5月に年会費の案内状が送付され、6月15日現在で会費納入率が33%となり、引き続き、納入の案内を行っていくことが報告された。
- (4) 入会者（2名）、退会者（6名）、院生幹事の退任（1名）、院生会員の継続（1名）が了承された。
- (5) 2010年度決算および2011年度予算案が了承され、会計監事による会計監査が終了したことが報告された。
- (6) 次世代情報基盤共有システムNet Commonsを導入して、新しいHPを立ち上げることが了承された。

2. 会誌編集委員会報告

（吉井編集委員長、神戸大学）

- (1) 学会誌第39号（2010年版）が5月に発行されたこと、投稿論文に対する査読の状況について報告された。
- (2) 学会誌創刊40周年に関して、編集委員会で検討を行っていることが報告された。
- (3) オンライン・ジャーナルJ-stageに学会誌を掲

載することが了承された。

- (4) 投稿論文の制限字数緩和を検討することが了承された。

3. 研究奨励賞

- (1) 吉井編集委員長（神戸大学）より、研究奨励賞の候補論文が報告された。
- (2) 褐田（青山学院大学、委員長）、宇山（北海道大学）、中村（秋田大学）、羽場（青山学院大学）、宮本（関西大学）の各理事から構成される選考委員会が、9月10日までに選考理由を添えて選考結果を代理事に通知することが確認された。

4. 2011年研究大会

- (1) 大会開催校の左治木理事（東京国際大学）より準備状況等が報告された。
- (2) 横手企画委員長（慶應義塾大学）より共通論題の企画案が報告され、了承された。
- (3) 兵頭事務局長（防衛研究所）より自由論題報告の応募状況が報告され、全ての応募が了承されるとともに、討論候補者の選考が行われた。

5. 2012年研究大会

- (1) 兵頭事務局長（防衛研究所）より4学会合同大会の調整状況が報告され、共通プログラムは前回同様に共同シンポジウムと合同懇親会にすることが了承された。
- (2) 月村太郎理事（同志社大学）より、自主大会の大会開催校を引き受けたことが報告された。
- (3) 自主大会については、引き続き、JSSEESとの合同大会とすることが了承された。
- (4) 4学会合同大会プログラムおよび理事改選手続きの関係から、自主大会プログラムを1日に短縮することが了承された。

新入会員（申し込み順、敬称略）

氏名	所属	専門分野	推薦者（署名順）	
大西富士夫	静岡県立大学客員研究員	北欧・北極海の国際関係	六鹿茂夫	林忠行
櫻井 進	徳島文理大学教授	中東欧地域研究（ブルガリア）	吉井昌彦	黛秋津

学会ホームページ を刷新しました

国立情報学研究所による HP サーバーの無償提供が 2012 年 3 月末で終了することから、新サーバーの借り上げに関する検討を進めておりました。その結果、6 月に実施された理事会の承認を経て、8 月 1 日より新しい HP (<http://www.gakkai.ac.jp/roto>) を立ち上げることになりました。

なお、新 HP は徐々にコンテンツを構築しており、その間は旧来の HP (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/roto/>) も引き続きご参照いただきますようお願いします。2012 年 3 月までは、新旧 HP を併存させる予定ですが、全ての新着情報は新 HP 上にて随時掲示します。

1. 次世代システム NetCommons の導入

新 HP を開設するにあたり、国立情報学研究所が開発した次世代情報基盤共有システム Net Commons を導入しました。

国立の研究機関が開発したソフトであるため安全性が高く、業者に委託するサーバー使用料等を除き、ソフト代などの費用が一切かかりません。そのため、日本ロシア文学会など、多くの学協会や教育機関、地方自治体などが相次いで導入しています。

従来は、HTML や CSS といった特殊な知識が必要であったため、HP の構築・管理は IT 知識を有する特定の会員にお願いせざるを得ませんでした。しかし、Net Commons の導入により、インターネット接続環境さえあれば、どこからでもブログ感覚で HP の更新が可能となります。

Net Commons には様々な機能が搭載されており、携帯用 QR コード、HP 内検索、会員による掲示板利用、アンケート、一斉メール配信、パスワード利用によるファイルの共有化などが可能です。

今後は、新 HP の機能を拡充して、学会の対外広報や会員間の情報共有の強化を目指したいと思います。新しい HP のデザインや機能に関して、ご意見等がありましたら広報委員会または事務局までお知らせください。

2. HP 上でのオンライン参加登録がスタート

新しい HP の完成に伴い、本年度の研究大会から、オンラインによる参加登録を実施します。

これにより、出欠ハガキを記入して投函するという参加者の手間が省けるとともに、ハガキを集計して参加者名簿を作成するという大会開催校の膨大な作業も不要となります。また、オンライン参加登録の導入により、参加登録の締め切りが、従来に比べて約 1 週間延長され、9 月 30 日(金)までとなります。さらに、参加登録の内容が確認メールの形で参加者本人に通知されますので、懇親会申込みの有無など、参加者本人が登録内容の記録を手することができます。

参加登録は、HP 上の登録フォームに従って入力するだけの簡単なもので、登録の際にはメール・アドレスが必要となります。登録が完了すると最終画面が掲示されます。これを印刷していただき、大会受付時にご提示くださいますようお願いします。

何らかの理由によりオンライン参加登録が利用できない場合、登録後の変更・取り消し等は、ロシア・東欧学会事務局までメールにてお知らせください。

「よくあるご質問」の ページを新設

新しい学会 HP に、事務局に寄せられる「よくあるご質問」のページを新設しました。

特にお問い合わせの多い年会費の納入に関して、以下、抜粋してご紹介します。HP に掲載されていないご質問に関しては、事務局までお尋ねください。

Q : 会費の納入状況がわからないのですが。

A : 事務局までメールにてお問い合わせください。なお、払込受領証は、年会費の支払いを証明するもので、大切に保管していただけますようお願いします。なお、年会費の未納に関しては、事務局より定期的に文書にてお知らせしております。

Q : 年会費の未納があるのですが。

A : 未納分をお納めいただきますようお願いします。1 年以上未納の場合には、学会誌などの郵便物の発送

ロシア・東欧学会ニュースレター

を停止しております。未納分の入金が確認されましたら、順次、追加発送させていただきます。3年以上未納の場合、理事会の承認を経て、退会の取扱いをさせていただきます。年会費の未納に関しては、事務局より定期的に文書にてお知らせしております。

Q:国内外の銀行から年会費を送金することは可能ですか。

A:可能です。ゆうちょ銀行は国内外の銀行からの送金にも対応しております。他行から送金される場合は、口座番号が一部異なりますのでご注意ください。各種インターネット・バンキング等をご利用いただくことも可能です。その場合、送金情報の中に必ずフルネームをお入れください。また、大変恐縮ですが、他行から送金される場合は、手数料をご負担くださいますようお願い申し上げます。

Q:事務局が送付する「払込取扱票」を使用せずに年会費を振り込むことは可能ですか。

A:可能です。郵便局に備え付けの青色の「払込取扱票」やATM(現金自動預け払い機)、ゆうちょダイレクトなどを使用してオンラインでご送金いただくこともできます。但し、事務局が送付する赤色の「払込取扱票」は、「払込料金加入者負担」となっており、学会側が手数料を負担しております。これ以外の手段でお振込みいただいた場合は、大変恐縮ですが、手数料のご負担をお願いしております。

Q:郵便局のATM(現金自動預け払い機)から年会費は納入できますか。

A:可能です。「払込取扱票」対応型ATMであれば、事務局が送付する「払込取扱票」をATMが受け付けます。郵便局の窓口に並ぶ必要もなく、お持ちの郵便口座から振り替えることもできます。また、窓口が閉まっていても、ATMの稼働時間内であれば振り込みが可能です。さらに、学会が負担する払込手数料が120円から80円に減額されますので、経費削減の観点からも、ATMをご利用いただけますとありがたく存じます。

Q:年会費の領収書を発行していただきたいのですが。

A:事務局までお申し出ください。入金が確認され次第、領収書を発行させていただきます。

学会誌への投稿 9月15日応募締切

論文、研究ノート、書評、研究資料の原稿を募集しています。応募締め切りは9月15日、原稿提出期限は11月末日です。研究大会における自由論題報告者のみならず、多くの会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。投稿時点での40歳未満の会員は、研究奨励賞の選考対象となります。執筆要領については、学会HP、学会誌巻末の「投稿規程・執筆要領」をご覧下さい。なお、学会誌のバックナンバーを実費で配布しております。希望される方は、事務局までお問い合わせください。

投稿申込・原稿送付先

ロシア・東欧学会 会誌編集委員会

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1

神戸大学大学院経済学研究科 吉井研究室 気付

TEL (078) 803-6844/FAX (078) 803-7293

e-mail : yoshii@econ.kobe-u.ac.jp

《編集後記》

学会の新しいHPが立ち上りました。事務局からのお情報発信を強化しますので、ぜひご活用ください。また、会員の皆様からの研究会情報なども掲載しますので、事務局までメールにてお知らせください。

(兵頭)

ロシア・東欧学会ニュースレター

第24号(2011年9月発行)

《発行・編集》ロシア・東欧学会事務局 兵頭慎治
広報委員 岡田美保

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学外国語学部ロシア語学科 気付

E-mail : jarees_office@yahoo.co.jp

FAX : 03-3238-3087

ホームページ : <http://www.gakkai.ac.roto>

ゆうちょ銀行 加入者名 : ロシア・東欧学会

郵便局での払込 : 00150-8-177731

他行からの送金 : 019店 当座 0177731